

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月21日更新

事務事業名		再生資源集団回収助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	市民生活部	課長名	合志 義浩
	施策	21	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	鍋島 一紗
	施策の柱	62	ごみの発生抑制とリサイクルの推進			所属班	環境衛生班	(内線)	1142
予算科目	会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11476	根拠法令	合志市再生資源集団回収助成金交付要綱		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	子ども会等の再生資源の回収を行なっている団体に対し助成金を交付することにより、リサイクルの推進とともに菊池広域連合(旧菊池環境保全組合)へのごみの搬入量を削減するために平成5年度より開始した。再生資源の回収を行なった団体に対し、回収量に応じて助成金を交付する。 助成金：10円/kg(古紙類、缶類、布類、ペットボトル(H19より追加))、10円/本(1升ビン)、8円/本(その他のビン) 令和6年度より「11476再生資源集団回収助成事業(統合親・名称変更)」と「11475生ごみ処理機器設置補助事業」を「11476ごみ減量及びリサイクル促進事業」に統合。
【業務の流れ】	回収団体登録受付、助成金交付申請書受付、審査、交付決定通知、支払い事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)、職員手当(時間外)、役務費(通信運搬費)
【意見や要望】	住民より有価物にならないものがある、単価の改正をして欲しいとの意見がある。 子ども会などの活動回数が少なくなっている。自治会独自の取り組みを考えているが、人が集まらない。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	5月に生涯学習課主催子ども会総会に参加し助成金の説明を行った。11月には未申請団体、2月には申請団体を対象に、助成金事業についての説明施及びチラシを配布することにより事業推進を行った。年間を通して申請書受理、審査、支払い事務を行った。(助成金申請団体は61団体の申請件数135件)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 申請件数	イ:	11476再生資源集団回収助成事業と11475生ごみ処理機器設置補助事業を11476ごみ減量及びリサイクル促進事業へ統合することに伴う増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	資源物回収団体	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 団体
		→ ア: 資源物回収団体数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	資源リサイクルを推進する	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ ア: 助成を受けた団体数/登録団体数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
再生資源の集団回収を実施することで、資源リサイクルの推進に繋がることから、成果指標を「助成を受けた団体数/登録団体数」とし、目標値については登録全団体に実施してもらうことが重要であり「100%」とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込	
① 活動指標	ア 件	イ	130	135	147	135	147	146	146	146	
② 対象指標	ア 団体	イ	89	86	90	70	90	90	90	90	
③ 成果指標	ア %	イ	69.7	70	100	87.1	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	6,793	5,583	8,277	5,001	8,488	9,445	9,395	9,345
		(A) 事業費計	千円	6,793	5,583	8,277	5,001	8,488	9,445	9,395	9,345
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	5	4	5	5	5	5
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	5	4	5	5	5	5
		正規職員従事人数	人	5	6	5	4	12	12	12	12
延べ業務時間	時間	520	366	350	288	650	650	650	650		
(B) 人件費計	千円	2,033	1,392	1,394	1,048	2,589	2,589	2,589	2,589		
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,826	6,975	9,671	6,049	11,077	12,034	11,984	11,934		

事務事業名	再生資源集団回収助成事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 コロナ禍以降、再生資源集団回収活動が縮小している回収団体がある。また、少子化や共働き世帯の増加により子ども会が解散するなど、回収団体自体が減少傾向にあり、コロナ禍以前と比較して申請が減少した。
	② 6年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 補助金を請求していない団体に対し、資源物回収等活動状況の確認及び補助金の請求を推奨する文書の送付を行なうことにより、補助金申請団体の向上を目指す。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 再生資源の回収団体を増やすことで、さらに資源物の回収活動を活発化につなげ、成果の向上を図る。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和6年度より「11476再生資源集団回収助成事業(統合親・名称変更)」と「11475生ごみ処理機器設置補助事業」を「11476ごみ減量及びリサイクル促進事業」に統合
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 回収量に応じた助成金であり、削減はできない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 回収量の確認と助成金の支払い事務のため削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 子ども会、自治会に属する老人会などの団体に再生資源の回収量に応じて助成金を交付するので公平・公正である。
	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 現在市がごみの減量化の推進しており、ごみの減量化に沿った事業である。再生資源の集団回収は子ども会、自治会の老人会等が行い、再生資源の回収量に応じ助成金を市が支払うことの役割分担は適切である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

令和5年度は、61団体に対して4,975千円の助成金交付を行った。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)  <input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)         </p> <p>令和6年度より「11476再生資源集団回収助成事業(統合親・名称変更)」と「11475生ごみ処理機器設置補助事業」を「11476ごみ減量及びリサイクル促進事業」に統合</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						